

R 7 年度 学習の手引き（シラバス）

3

学年

教科・科目

保健体育・体育（普・理）

単位数

2

担当者

井上、太田、森、安江

1、教科書・副教材

なし

2、科目の目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

3、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月	オリエンテーション 体力テスト 体ほぐしの運動	・健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	35	
	5月	体力を高める運動 球技 ネット型	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。		
	6月	バレーボール ダンス	・感じを込めて踊ったり、自由に踊る楽しさを味わい、交流や発表の仕方、体力の高め方を理解する。		
	7月	体育理論			
	8月	球技	・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。		
	9月	ベースボール型 ソフトボール	・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。		
後期	10月	球技 ゴール型 サッカー	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。	35	
	11月	バスケットボール ネット型	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。		
	12月	バドミントン 卓球			
	1月	特別編成授業			
	2月				
	3月				

4、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	各種目の特性に応じた技能を身につけている。 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。	技能テスト、技能数値、試合形式での授業、基礎的な体の使い方 等
思考・判断・表現	課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	ワークシートでの意見考察内容、試合形式内での声掛け、安全配慮 等
主体的に学習に取り組む態度	毎回の授業で主体的に取り組むことができたか。	出席、準備、片付け、安全確認、挨拶、体操、協同姿勢 等

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- (1) 安全面の留意
- (2) 「良き仲間づくり」を意識した授業展開

R 7 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	保健体育・体育（森、イ）	単位数	3	担当者	井上、森、太田
---	----	-------	--------------	-----	---	-----	---------

1、教科書・副教材

なし

2、科目の目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

3、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月	オリエンテーション 体力テスト 体ほぐしの運動	・健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	5 3	
	5月	体力を高める運動 球技 ネット型 バレーボール	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。 ・感じを込めて踊ったり、自由に踊る楽しさを味わい、交流や発表の仕方、体力の高め方を理解する。		
	6月	ダンス 体育理論	・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。		
	7月				
	8月	球技 ベースボール型 ソフトボール	・自己の適したペースを維持して走ること。ペースの変化に対応して走ること。 ・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。		
	9月				
後期	10月	球技 ゴール型 サッカー	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。	5 2	
	11月	球技 ゴール型	・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。		
	12月	バスケットボール			
	1月	球技			
	2月	ネット型			
		卓球			
	3月	バドミントン 特別編成授業			

4、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	各種目の特性に応じた技能を身につけている。 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。	技能テスト、技能数値、試合形式での授業、基礎的な体の使い方 等
思考・判断・表現	課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	ワークシートでの意見考察内容、試合形式内での声掛け、安全配慮 等
主体的に学習に取り組む態度	毎回の授業で主体的に取り組むことができたか。	出席、準備、片付け、安全確認、挨拶、体操、協同姿勢 等

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- (1) 安全面の留意
- (2) 「良き仲間づくり」を意識した授業展開

R 7 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	保健体育・ライフスポーツ（普・森・イ）	単位数	2	担当者	森
---	----	-------	---------------------	-----	---	-----	---

1、教科書・副教材

--

2、科目の目標

① ニュースポーツ等を中心に実施し、生涯を通じて継続できるスポーツを模索する。
② 新ルールを模索するとともに、男女・年齢層を考慮し種目を実施する。
③ 健康の保持増進について、実施できる能力を養う。

3、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4 月	オリエンテーション	年間計画・活動目標と授業内容の説明	3 5	
	5 月	スラックライン、縄跳び	各種目の特性やルールの理解・実践		
	6 月	ユニバーサルホッケー	新ルールの模索・実践 各種目の特性やルールの理解・実践		
	7 月	ブラインドサッカー ゴールボール	新ルールの模索・実践		
	8 月	けん玉 ワンバウンドフラパールパレー			
	9 月	インディアカ			
	後期	10 月	グラウンドゴルフ		
11 月		バウンドテニス	各年代の身体的特性および健康保持増進について、年齢にあわせた健康の保持増進のための運動について（理論・実践）		
12 月		ターゲットバードゴルフ			
1 月		健康の保持増進について			
2 月					
3 月					

4、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	各種目の特性に応じた技能を身につけている。 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。	技能テスト、技能数値、試合形式での授業、基礎的な体の使い方 等
思考・判断・表現	課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	ワークシートでの意見考察内容、試合形式内での声掛け、安全配慮 等
主体的に学習に取り組む態度	毎回の授業で主体的に取り組むことができたか。	出席、準備、片付け、安全確認、挨拶、体操、協同姿勢 等

5、学習にあたっての注意とアドバイス

（１）安全面の留意
（２）「良き仲間づくり」を意識した授業展開